

今日インターネットが普及し、新聞や雑誌で扱われる情報もインターネットから簡単に得ることができるようになった。確かに、インターネットの情報も情報伝達の速さ、動画等の映像の豊富さ、手軽さの点では新聞や雑誌より優れており、一見、新聞や雑誌は不要になったかのように見える。しかし、それでも私は新聞や雑誌は必要だと思う。

まず第一の理由として、インターネットを使いこなせない人がたくさんいることが挙げられる。インターネットが普及したのばかりでなく、最近のことであり、小さい頃からパソコンに親しんでいた世代の方達にとっても、パソコンは非常に複雑であり、パソコンを操作できない方もたくさんいる。新聞や雑誌が無ければ、こういった方達が情報から隔離されてしまう。

第二に、新聞や雑誌の持ち運びやすさが挙げられる。パソコンは確かに軽量化したが、それでも重い。携帯電話でもインターネット

が利用できるが、こういった電子機器は飛行機内では利用できない。新聞や雑誌なら軽いし、どこでもいつでも読むことができる。

第三に、インターネットの情報は信頼性が低いことが挙げられる。インターネットの情報は誰が公開したかがはっきりしないものが多く、また自由に消去できるので、責任の所在がはっきりせず、いい加減な情報が流れやすい。しかし、新聞や雑誌は発行元、著者が明確であり、しかもその情報が形として消費者の手元に残る。その分、出版社も容易に裏切りのない情報を提供できなので、信頼性の高いものとなる。

インターネット、新聞、雑誌のいずれもそれぞれ長所、短所を併せ持っている。それを情報を受取り取る側の人間がよく理解し、それぞれの利点を活かしながら、情報と上手に付き合っていければならない。